

# 第5回 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会

## 添付資料

- |                            |      |
|----------------------------|------|
| (1) 候補路線一覧                 | 1ページ |
| (2) 候補路線図                  | 2ページ |
| (3) 利用者の需要に応じた持続可能な運行方法の実例 | 3ページ |
| (4) 福山・笠岡地域活性化協議会規約        | 4ページ |

2017年（平成29年）7月6日

## 候補路線一覧

(利用者の需要に応じた持続可能な運行方法への転換候補路線)

項番	路線バスの状況							主な対象学区
	主な起点 主な経由地 主な終点	系統数	1日 当りの 運行回数	キロ程 (km) ( )内他市含	関係市 町	2016 収益 率	交通事業者	
1	フジグラン 山野下市 矢川	7 系統	4.0	4.8~25.3	—	14.4%	北振バス(株)	山野 加茂
2	井原 川相 山野田原	3 系統	5.0	0.7~5.1 (11.1~18.3)	井原市	14.1%	北振バス(株)	
3	フジグラン 駅家 服部	3 系統	3.5	9.1~16.0	—	13.3%	(株)中国バス	服部
4	目崎車庫 本山 金丸車庫	1 系統	4.0	4.6 (9.8)	府中市	9.2%	(株)中国バス	常金丸
5	松永駅北口 工業団地 三成	1 系統	3.0	2.2 (10.1)	尾道市	8.1%	鞆鉄道(株)	今津
6	松永駅北口 宗金 松永駅北口	1 系統	3.0	10.7 (11.6)	尾道市	12.4%	鞆鉄道(株)	東村
7	箱崎 寺山 沼隈支所	1 系統	6.0	12.5	—	8.1%	鞆鉄道(株)	内浦

※「収益率15.0%」とは、運行区間の概ね8割で1人利用、残り2割で利用が無い状態

# 候補路線図

(利用者の需要に応じた持続可能な運行方法への転換候補路線)



## 利用者の需要に応じた持続可能な運行方法の実例（福山市）

### 1 乗合タクシー事業（2学区で実施中）

バス路線の廃止に伴い、利用需要の小さい地域における持続可能な公共交通を目指して導入されている。一般的な路線バスと同様に時刻表に応じて運行するが、小型サイズの車両を活用するため、狭隘な道路でも走行可能（より自宅付近まで運行可能）であり、また効率的な運用を図るため、デマンド型（予約制）の仕組みによりカラ便（利用者が0人の便）を排除している。

（現在、中条学区、竹尋学区で運行中）



竹尋学区での運行状況

### 2 高齢者おでかけ支援事業（9学区で実施中）

高齢化や公共交通機関を利用しにくいなどの理由から、高齢者の方々が地域活動や通院・買い物等をしたりが困難な地域において、小学校区を単位として地元住民・団体が主体となり、概ね75歳以上の高齢者の方々のバス停や通院・買い物等の送迎を無償で行っている。

（現在、常金丸学区、常石学区、山野学区、走島学区、内浦学区、服部学区、熊野学区、山南学区、日吉台学区で運行中）



常石学区（左）、熊野学区（右）での運行状況